

ドメイン モデリング

問題領域の意味・構造・規則・境界を組織する

オブジェクト・モデル

知識モデル

ドメイン・モデル

目的に沿った適用モデル

文芸モデル

ドメイン・モデルは、第四の構成要素ではない

形式

オブジェクト・モデル

構造と振る舞い

意味

知識モデル

意味関係と根拠

文脈

文芸モデル

文脈・意図・説明



開発目的で選択・対応付け

ドメイン・モデル

問題領域を理解し、判断し、開発するための適用モデル。

クラス図だけでも、何でも入る巨大文書でもない。

ドメインモデリングは、四つの問いを結び付ける

意味

この業務では何を意味する
か



境界

どの範囲で有効か

問題領域を
理解・判断・開発す
る

構造

どう分類・関係・所有され
るか



規則

何が許され、常に成立する
か

境界は、意味を一貫させる範囲を定める

境界づけられたコンテキスト

用語

同じ言葉を同じ意味で使う

構造

分類と関係が一貫する

規則

適用範囲が明確になる

責任

変更理由をまとめる

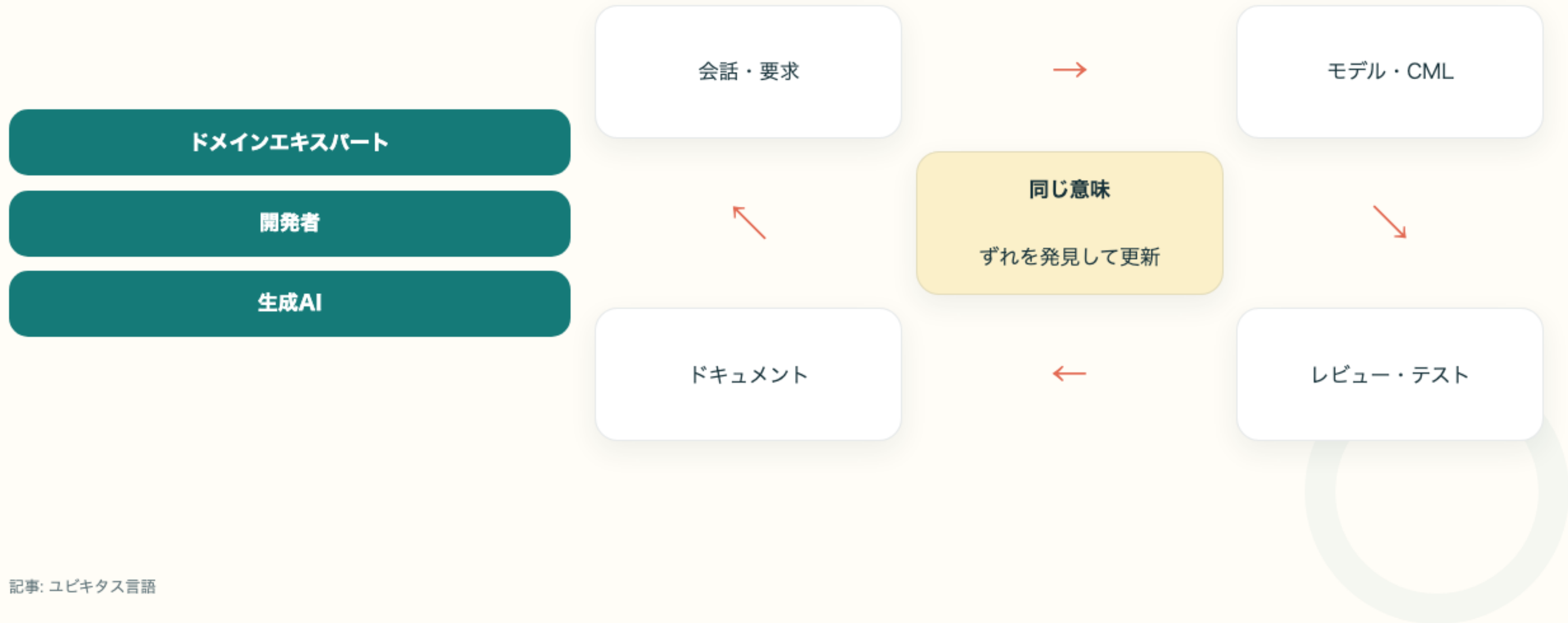
同じドメイン・モデル内の別の境界

同じ言葉でも意味や規則が異なり得る。

境界間の対応と意味の違いを明示

一つのドメイン・モデルに複数の境界を含め、各境界の内部を一貫させる。

ユビキタス言語は、モデルと会話で使い続ける



一つのドメインを、三つの側面で表す

オブジェクト・モデル

型・分類・関係・責務・制約・状態・振る舞い

実行可能な形式

知識モデル

用語・概念・分類・意味関係・規則・根拠・出典

探索可能な意味

文芸モデル

文脈・意図・判断理由・事例・既存仕様・説明

自然言語の文脈

同じ文章を複製せず、共通の用語識別子とモデル要素で対応付ける

AI生成と開発者レビューを往復して、妥当性を高める

1 収集

文書・会話・事例・規則

2 意味を整理

用語とコンテキスト

3 境界候補

一貫する範囲と相互関係

4 AI生成・更新

オブジェクト・モデル

5 CBD Support

差分・根拠・影響・検証

6 開発者レビュー

モデルを判断する

↑ 修正方針を生成AIへ返し、次のモデル更新へつなぐ。

生成AIと開発者のモデル開発ループ



修正方針を生成AIへフィードバックし、次のモデル更新へ返す

「注文確定」は、コンテキストごとに意味が違う

販売

注文内容を確認

以後の変更に制約を加える。注文・注文明細・状態を形式化する。

決済

支払いを承認

決済上の承認規則と責任を独立して保持する。

在庫

在庫を引き当て

在庫の可用性と引当規則を独立して保持する。

一つの「確定」操作へ押し込まず、境界を越える情報と責任を明示する

対象世界のモデルから、利用目的の実現へ進む

第8回

ドメインモデリング

- 概念・意味
- 構造・規則
- 状態・振る舞い
- 境界

対象世界をモデル化する



第9回

アプリケーションモデリング

- ユースケース
- UI
- 協調と相互作用
- サービス・操作・イベント

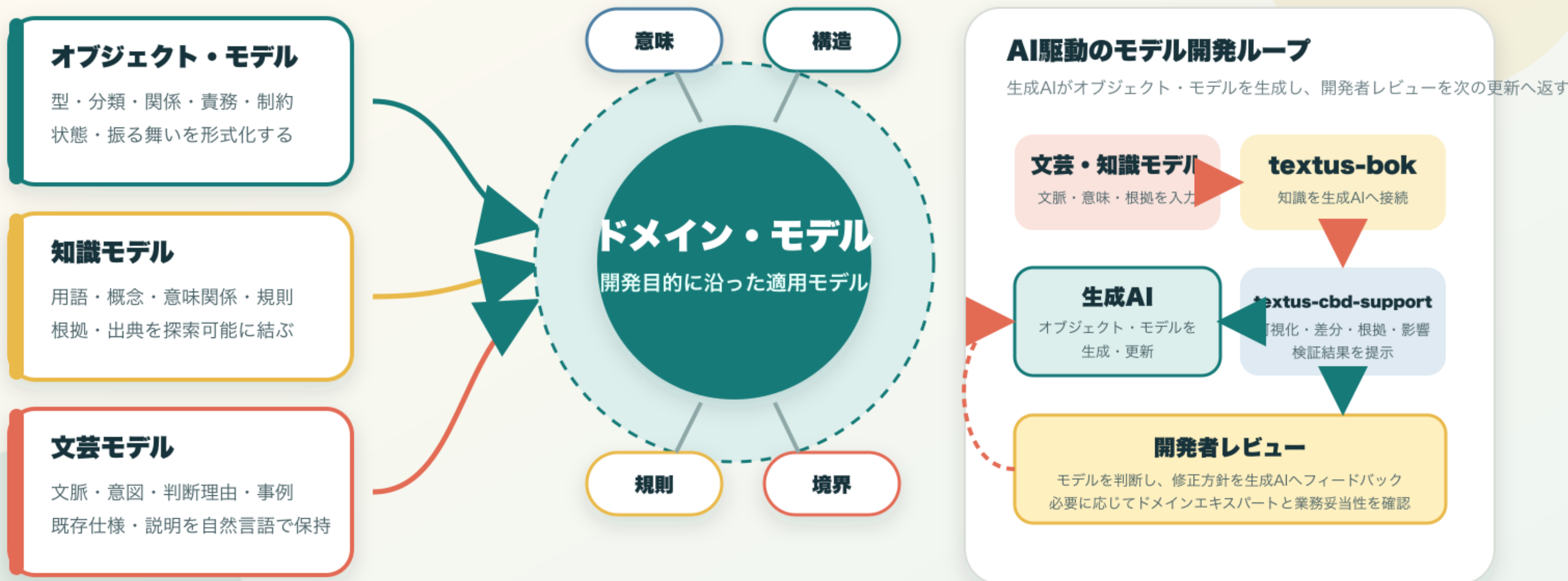
利用目的を実現する

静的／動的の二分ではなく、対象世界と、その世界を使って目的を実現するモデルの違い。

ドメインモデリング

三つのモデル構成要素から、問題領域の意味・構造・規則・境界を組織する

SimpleModeling



意味と境界を整え、AI生成・開発者レビュー・フィードバックを一つの開発ループにする